

平成24年 第2回 議会定例会

一 般 質 問

1. 2番 野田 泰博

2. 1番 岩崎 成子

3. 3番 松尾 榮子

4. 5番 血脇 敏行

5. 9番 藤代 武雄

6. 6番 軍司 俊紀

7. 7番 山本 清

印西地区環境整備事業組合議会

一 般 質 問

議席2番 野田 泰博 議員

印西市民に配付した印西市長としての抱負、公約の刷新プランについて印西地区環境整備組合事業に関する点につき質問致します。印西市長になるために何を印西市民に公約しようと一部組合議会議員のしかも栄町議会代表としている者は質問すべきではありませんが、一部組合に関連する事に質問する事は許されると思いますので、板倉市長の市民目線でお答え願いたく存じます。

- 【質問1】** 板倉管理者は印西市長選挙時期に、5つの刷新を旗印にしておりました。「今の計画は規模が過大でムダ遣い、ゴミ減量を進めれば施設の規模は半分になる」という説明をされていましたが、半分の規模とはどのようなものを想定されておりましたか。その想定していた金額と施設の内容を説明して下さい。
- 【質問2】** 200億円のムダ遣いをやめて救急医療政策、北総線・買い物政策、子育て教育政策、地域保全などの刷新のための財源を供給すると印西市民に説明していらっしゃるようですが、市長になられたが、200億円は資金は印西市の予算から調達するものですか？
- 【質問3】** 板倉管理者のゴミ減量化は何をどの程度しようという想定だったのでしょうか。
- 【質問4】** 印西地区環境整備組合の板倉管理者は次期中間処理建設計画の白紙撤回はこの2年間にかけた費用と時間をムダと表現されましたが、そのムダは金額に換算したらいかほどになるのでしょうか。
- 【質問5】** 白紙撤回の道筋を印西地区環境整備組合議会に図る前に印西市議会にお知らせになったようですが、これは印西地区環境整備組合議会の軽視につながるとお考えいませんか。前管理者は、2年間もの間、予定通り建設しなければ、印西市、白井市、栄町にゴミ処理に問題が起きる可能性がある」と議会でも説明していながら、突然、新聞紙面で「市民への説明不足」

という理由で土地購入断念の発表をしました。今また、一部組合議会に説明せずに白紙撤回を表明しました。これは、2代に亘って印西市長は一部組合議会を軽視したと思いますが、いかがお感じですか。

【質問6】 現在、印西地区環境整備組合の所有する放射能8000ベクレル超えの焼却灰は130トンと思いますが、森田知事は印西市と我孫子市にまたがる県の下水道終末処理場に放射能セシウムを含む焼却灰8000ベクレル超えの焼却灰をおくと6月18日に発表し、その時、両市の市長は反対していました。板倉市長は「落とすところを見つける（東京新聞記載）」という表現に見られるように了解する方針で進められているようです。印西市が了解するならば、印西地区環境整備組合が所有する14000ベクレルある焼却灰も置くようにすべきだと思いますがいかがお考えでしょうか。市民目線を大事にされる板倉管理者ですので、この焼却灰について市民目線とはどのようなものなのか、いつ市民目線でご覧になったのでしょうか、印西地区環境整備組合の焼却灰をどのようにしていくつもりでしょうか、市民目線ではどのように見えるでしょうか。

議席1番 岩崎 成子 議員

【質問1】 ごみ処理事業について

- (1) 「印西地区ごみ減量化・資源化の行動計画」に基づき実施している排出抑制及び減量化・資源化施策の進捗状況について
- (2) 印西クリーンセンター次期中間処理施設整備事業について
 - ①平成24年度の予算の執行状況について
 - ②現施設の老朽化の進行状況について
 - ③クリーンセンター施設更新問題の方向性について

【質問2】 一般廃棄物最終処分場事業について

- (1) 埋立期間（平成11年度～平成25年度）15年間で終了となります。地元への説明会開催について

【質問3】 余熱利用施設事業（温水センター）について

- (1) 施設の利用状況
- (2) 指定管理者による管理運営の評価について

【質問4】 平岡自然公園整備事業について

- (1) 印西斎場の施設使用状況について
- (2) 平岡自然の家の施設利用状況について
- (3) 印西霊園の墓地区画工事の進捗状況について

【質問5】 熱供給事業について

- (1) クリーンセンターの焼却余熱の有効利用を目的として進めている熱供給事業の現況について

議席3番 松尾 榮子 議員

【質問1】 印西クリーンセンター更新計画について

7月の印西市長選挙の結果、印西市の新市長に板倉正直氏が就任され、当組合の管理者にも就任された。板倉新管理者は、市長選において、印西クリーンセンターの9住区への移転更新計画の白紙撤回と公募による新候補地への移転を掲げて当選された。そこで、今後の対応について伺う。

- (1) 印西地区環境整備事業組合において、印西クリーンセンター更新問題についての新方針に関する正式協議は行われたか。行われた場合、その内容について。
- (2) 正副管理者会議での協議内容と各構成市町の対応。
- (3) 新計画のスケジュールについて。
- (4) 新計画の事業費予測について。
- (5) 印西クリーンセンター次期中間処理施設整備基本計画（平成23年3月策定）の見直し予定について。
- (6) 現クリーンセンターの耐用見込みと老朽化対策について。

【質問2】 放射線問題について

東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故に伴う放射線問題について伺う。

- (1) 手賀沼終末処理場への放射性物質を含む焼却灰の保管所問題について。
 - ① 組合で保管する基準値超の焼却灰の現況。
 - ② 現在、保管所問題は、終末処理場が位置する我孫子市及び印西市と、千葉県、東葛3市の問題になりつつあるように見えるが、もともとは4市と1組合、県の問題であった。組合として現在、この問題にどのように対処しているのか。
- (2) 組合は6月20日、平成23年度中に放射性物質対策に要した費用のうち国庫補助対象外の6961万1534円を東京電力に対し請求しているが、7月20日、東京電力より、下水道事業、水道事業への損害賠償、また個人、法人、個人事業主への賠償を優先する旨の回答があったとのことである。
 - ① これについて管理者の考えは。
 - ② (1)でも質問したように、今回の放射線問題は、下水道、水道事業ばかりでなく、ごみ焼却により、高濃度の放射性物質が焼却灰に含まれる。

まれ、各地で焼却灰の処分に影響をきたし、保管などの面で大きな実務負担と費用負担を強いるなど、ごみ処理事業に与えた影響と混乱は計り知れない。

今後どのように対応するか。

議席5番 血脇 敏行 議員

本年7月に執行された、印西市長選挙において板倉新市長が誕生いたしました。板倉新市長は、印西クリーンセンター次期中間処理施設整備の移転計画を白紙撤回することを明らかにしております。そこで、下記事項について、お伺いいたします。

- 【質問1】 印西地区環境整備事業組合管理者に、印西市長から白紙撤回の申し出はあったのかお伺いします。
- 【質問2】 印西地区次期中間処理施設整備検討委員会が、平成21年から開催され、平成23年3月に出された結果（次期中間処理施設整備基本計画）についての管理者の見解をお伺いします。
- 【質問3】 熱供給・余熱利用について、今後の事業展開の管理者の見解をお伺いします。

議席9番 藤代 武雄 議員

【質問1】 次期中間処理施設移転計画の白紙撤回状況について

- (1) 次期中間処理施設更新計画について。
- (2) 管理者として住民の声をどのように捉えているか。
- (3) 副管理者は、白紙撤回をどのように捉えているか。
- (4) 延命化対策について。
- (5) ゴミ処理施設の将来への責任について。

【質問2】 印西地区一般廃棄物最終処分場について

- (1) 延命化対策について。

議席6番 軍司 俊紀 議員

【質問1】 印西クリーンセンター移転問題と余熱利用について

7月8日（日）に実施された印西市長選挙で当選した板倉市長は「クリーンセンターの白紙撤回」を最大の公約として印西市民に提示して選挙戦を戦い勝利し、組合管理者として互選され、印西クリーンセンターの今後について、十分な研究・検討を行い、地域住民のための施設をつくるべく、陣頭指揮をとっていくものと考えている。

山崎管理者の下で、現在地より9住区に移転したほうが良いといった理由には、何点かあげられていたが、その理由の一つに「熱供給」といった項目があげられていたので、以下の項目について問うていきたい。

- (1) 印西クリーンセンターから余熱利用として、蒸気を（株）千葉ニュータウンセンターに（供給を）行っているが、その供給量と供給価格の単価はどのようなものか、また、操業当時から変わりはないのか、余熱利用の供給単価は適正と判断しているか。また、他の千葉県内の公共ごみ処理施設では余熱利用の方法として蒸気熱を民間会社に供給以外にどのような方法が取られているか。
- (2) 平成22年8月10日に（株）千葉ニュータウンセンターから「印西クリーンセンター次期中間処理施設整備事業対象候補地におけるエネルギー有効活用の検討結果」が報告されているが、これは組合からの要請に基づく答申として提出されたものなのか。この報告書の前提としての「省エネルギー効果」および「CO2排出削減効果」の比較検討よりも、先に今後の組合の在り方としては「熱回収」の立場に立てば、組合独自に発電する方法があると思われるが、経済的効果など検討したことはあるか。
- (3) 印西クリーンセンターは（株）千葉ニュータウンセンターに対して、熱供給の責任を負わなければならないのか。その理由は法令や契約書に依拠するものなのか。
- (4) 印西クリーンセンター内にある温水プールの老朽化対策は計画をたてて行われるのか。

【質問2】 印西クリーンセンターの延命策について

「クリーンセンターの白紙撤回」に伴い、必然的に現行施設の延命措置が必要になるが、ごみ減量計画とどのように関連付けられ、具体的に費用はいくらかかると見込んでいるのか。

議席7番 山本 清 議員

【質問1】 ゴミ焼却場計画の撤回

- (1) 2市1町の合意
 - ①印西市の板倉市長（組合管理者）の市長選挙公約である計画撤回について、白井市、栄町の合意は得られたか。
 - ②板倉市長の当選から、どのような協議がなされたか。
- (2) 住民への説明
 - ①ニュータウン中央北の住民に対して、方針変更は伝えられているか。
 - ②今後、どのように説明していくか。
- (3) 従来計画の白紙化
 - ①すでに存在する契約は解除できるか。
 - ②どの程度の金額が「ムダ」になったのか。

【質問2】 ゴミ減量計画

- (1) ゴミ減量の内容
 - ①現在の減量計画はどんな形になっているか。
 - ②管理者が変わったことで、減量計画に変更はあるか。
 - ③先進地域の研究は進んでいるか。
- (2) ゴミ減量計画は、だれがつくるか。
 - ①専門家の参加方法に変更はあるか。
 - ②市民参加はどうか。
- (3) ゴミ減量キャンペーン
 - ①市長の当選から3カ月。ゴミ減量キャンペーンはいつ始まるのか。
 - ②どのようなキャンペーン方法を考えているのか。
 - ③ゼロ・ウェイスト自治体との連携は進んでいるか。

【質問3】 新しいゴミ焼却場の建設

- (1) どのようなタイムスケジュールになっているか
 - ①ゴミ減量を反映させることができるか。
 - ②合意形成に無理がないスケジュールになっているか。
- (2) 新候補地の公募
 - ①いつ、どのような形で実施するのか。
 - ②受け容れた地域の優遇策は考えているか。
- (3) 熱供給との関係
 - ①熱供給事業との関係をどうするか。
 - ②CNCとの話し合いはどうなっているか。